

マルセル・ブロータス

Marcel Broodthaers 1924-1976 ベルギー

僕の冒険はマグリットのパイプから始まった マルセル・ブロータス

マルセル・ブロータスはもともと詩人だったが、詩集を石膏でかため彫刻作品とし、アーティストとなった。身近で伝統的な素材を用い、類いまれな繊細さとアイロニーで作品を表現。ルネ・マグリットの影響を強く受け、アートの在り方を探りつづけた。

「ABC」(1974)は、ヤシの木が織り込まれたタオルとabcの文字が描かれたキャンバスと一緒に、実際のヤシの木の鉢が置かれる。1974年、ブロータスは「冬の庭」を始めとした一連の展覧会を行い、この作品にみられる舞台装置の概念を作品の展示方法にもたらしした。「4つのアルファベットパイプ」(1972)はルネ・マグリットから強く影響を受けた作品のひとつ。ブロータスはまだ10代のとき、ルネ・マグリットの作品「これはパイプではない」(パイプの絵の下に「これはパイプではない」と描かれている)に出会う。つまりパイプの絵は絵であって、パイプではない。ブロータスは、マグリットがつくったこの裂け目を徹底して広げていくこととなる。